

理科

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

東書

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

発展的な記述が充実しており、高等学校での学習内容も中学生にわかりやすく説明されている。これは、中高一貫教育校として高等学校と一貫した教育を推進している本校にとっては重要なものであり、学力向上について十分配慮されているといえる。また、単元ごとに「from JAPAN ニッポンの科学」として日本の科学技術についてのコラムがあり、日本の科学技術がグローバル化が進む国際社会で高い評価を受け、日常生活や社会を豊かにしていることを身近に感じることができる。《①・②》

2. 教育基本法に基づく観点

読み物「科学でGO!」で環境や生命、自然災害への備えなどが取り上げられ、また、身近な科学現象とその原理を詳しく、わかりやすく解説している。さらに、「学びをひろげようー自由研究」で、生徒の興味・関心を広げる工夫をしている。これらは、本校のものづくり（理工）分野の生徒の学習意欲を高め、その才能を伸ばすという本校がめざす教育に合う内容となっている。《①・②・③》

3. 学習指導要領に基づく観点

全体的に学習内容を詳しく、丁寧に記述し、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。特に、「学びを活かして考えよう」で「書く」、「話す」、「調べる」と生徒の学習活動をきちんと提示しており、言語活動の充実を通して本校が目指す科学的な思考力・表現力の育成に活用しやすい構成となっている。さらに、「運動とエネルギー」の単元の「エネルギーと仕事」の章では、生徒にとって難解な「仕事」の概念からではなく、身近な「エネルギー」から教科書が展開されている。生徒の理解しやすさを重視していると思われ、生徒が主体的に事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うのに有効である。《②・③》

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

観察・実験の結果を整理・分析するために各学年の冒頭に「レポート作成のためのノートのかき方」「考察のしかた」が、1年生の冒頭にはさらに「話し合いのしかた」「発表のしかた」が掲載されており、本校が目指す科学的な思考力・表現力の育成に活用しやすい構成になっている。また、「学びを生かして考えよう」では、日常生活と学習内容を関連付けた考察力を育成するように配慮がなされている。《①・②》

5. 外的要素に関する観点

文字の大きさ、字間、行間が適切で、最も読みやすい字体が使用されている。また、製本が丈夫で、光沢のある表紙は中学生に親しみやすくできている。印刷の鮮明さにも工夫がみられる。《①・②・③》

6. 構成・配列に関する観点

各単元の記述内容は非常に充実しており、本校のものづくり（理工）分野の生徒の理科に対する学習意欲を喚起することができる。小学校理科の学習内容について十分に踏まえており、観察、実験は目的意識をもって実施できる構成となっている。《①・②・③》

7. 資料その他に関する観点

文字と写真、図、グラフ、表などの分量や配置はともに適切である。特に、写真は生徒の関心を強く引く工夫がみられる。発展の「科学の本だな」で生徒の知的好奇心に応える資料が掲載されており、主体的な探求心を養うことができる。《②・③》

理科	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙					
大日本						
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点						
発展的な記述が数多くあり、自然界の事物・現象について興味をもって楽しく学び、理解を深めることができるよう配慮されている。「科学史」「プロフェッショナル」で、科学者の功績や学習内容に関わる職業などについて取り上げられている。《⑦・⑧》						
2. 教育基本法に基づく観点						
コラム「くらしの中の理科」で理科の学習内容と日常生活や社会とのつながりが取り上げられている。また、「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」で生徒の興味・関心を広げる工夫をしている。《①・②》						
3. 学習指導要領に基づく観点						
全体的に学習内容を丁寧に記述している。しかし、観察・実験を計画する学習活動、観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動、科学的な概念を使用して考えたり、説明したりするなどの学習活動を通して生徒が主体的に課題を見出すためには、記述内容を工夫する必要がある。「運動とエネルギー」の単元の「仕事とエネルギー」の章では、生徒にとって難解な「仕事」の概念から、「エネルギー」へと教科書が展開されており、生徒の理解しやすさを重んじた構成に工夫が見られる。《②・⑩》						
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点						
観察・実験の結果を整理・分析するためのスキルを修得するために、1年生の冒頭に「わたしのレポート」が掲載されている。また、「話し合ってみよう」では、言語活動を伴う探求的な学習活動へ生徒を導く工夫がなされている。《①・②》						
5. 外的要素に関する観点						
文字の大きさは中学生が使用するのに適切であると考えられるが、字体が細くやや読みづらい。また、製本は丈夫で、光沢のある表紙は生徒に親しみやすくできている。《①・②・③》						
6. 構成・配列に関する観点						
各単元の記述はバランスよく構成されている。単元のはじめに「これまで学習したこと」がまとめられており、小学校理科の学習内容もきちんと踏まえている。観察、実験は目的意識をもって実施できる構成となっている。《①・②・③》						
7. 資料その他に関する観点						
文字と写真、図、グラフ、表などの分量や配置はともに適切である。また、「トピックス」など、生徒の主体的な探究活動を促す資料も提示されている。《②・③》						

理科	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
学図					
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
発展的な記述があり、自然界の事物・現象について興味をもって楽しく学び、理解を深めることができるよう配慮されている。「科学を仕事に活かす」でさまざまな職業で科学の知識が活かされていること、日本の科学技術についての記述がみられる。《⑥・⑧》					
2. 教育基本法に基づく観点					
「チャレンジ」「自由研究の進め方」を設けることで原理や法則の理解を深めることができるよう工夫されている。コラム「科学の窓」の中で医療や生命維持・防災・減災の取り組みなどが取り上げられているが、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を育成するには、記述内容に工夫が求められる。《②・④》					
3. 学習指導要領に基づく観点					
全体的に学習内容を丁寧に記述している。「運動とエネルギー」の単元の「仕事とエネルギー」の章では、生徒にとって難解な「仕事」の概念から、「エネルギー」へと教科書が展開されており、生徒の理解しやすさを重んじた構成に工夫が見られる。《②・⑩》					
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点					
観察・実験の結果を整理・分析するために全学年「観察・実験の進め方」が掲載されている。また、「話し合ってみよう」が設けられており、言語活動を伴う探求的な学習活動が促されるように工夫はされている。《②》					
5. 外的要素に関する観点					
文字の大きさは中学生が使用するのに適切で、読みやすい字体を使用している。また、製本が丈夫で、光沢のある表紙は生徒に親しみやすくできている。《①・②・③》					
6. 構成・配列に関する観点					
各単元の内容はバランスよく構成されている。各単元のはじめに「これまで学んできたことをチェックしよう」が設けられ、問いに答える形で既習事項を振り返ることができるようになっている。小学校理科の学習内容もきちんと踏まえており、観察、実験は目的意識をもって実施できる構成となっている。《①・②・③》					
7. 資料その他に関する観点					
文字と写真、図、グラフ、表などの分量や配置はともに適切である。《②》					

理科	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
教出				
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>発展的な記述があり、自然界の事物・現象について興味をもって楽しく学び、理解を深めることができるよう配慮されている。ハローサイエンスで科学の話題が紹介されているが、日本の科学技術については記述の充実が求められる。《⑦・⑧》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>コラム「ハローサイエンス」の中で、身近な生活や環境・安全などに関する内容が取り上げられており、身の回りの生活や環境・生命について科学的に考えられるように工夫されている。また、巻末に「自由研究」についての取り組み方が詳しく述べられており、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう配慮されている。《②・④》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>全体的に学習内容を丁寧に記述している。「運動とエネルギー」の単元の「仕事とエネルギー」の章では、生徒にとって難解な「仕事」の概念から、「エネルギー」へと教科書が展開されており、生徒の理解しやすさを重んじた構成に工夫がみられる。《②・⑩》</p>				
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>「わたしのレポート」を掲載し、観察・実験の結果を分析し解釈する学習活動や、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする学習活動を促しているが、内容のさらなる充実が求められる。《①・②》</p>				
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>文字の大きさが、少し小さく細く感じられる。もう少し大きくはっきりとした字体の方がわかりやすい。印刷は鮮明である。《①・②・③》</p>				
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>各単元の内容はバランスよく構成されている。小学校理科の学習内容はきちんと踏まえており、観察、実験は目的意識をもって実施できる構成となっている。《①・②・③》</p>				
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>文字と写真、図、グラフ、表などの分量や配置はともに適切である。《②》</p>				

理科	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
啓林館				
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点 発展的な記述があり、自然界の事物・現象について興味をもって楽しく学び、理解を深めることができるよう配慮されている。また、練習問題は別冊にまとめられており、基礎・基本を定着させるための工夫がなされている。《①・③》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点 観察・実験の結果等を整理・分析し、解釈・説明する力を育成するため、「予想してみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」を設定している。また、実験レポートの書き出し例が別冊に示されているが、合冊が望ましい。コラム「ぶれいくtime」で自然や生命についての内容が取り上げられている。《②・④》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点 全体的に学習内容を、丁寧に記述している「運動とエネルギー」の単元の「仕事とエネルギー」の章では、生徒にとっては難解な「仕事」の概念から、「エネルギー」へと教科書が展開されている。生徒の理解しやすさを重んじた構成の工夫がみられる。《②・⑥》</p>				
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点 「わたしのレポート」で観察・実験の結果を整理・分析するための記載がみられる。《①・②》</p>				
<p>5. 外的要素に関する観点 製本が丈夫で、光沢のある表紙は生徒に親しみやすくできている。印刷も鮮明である。《①・②・③》</p>				
<p>6. 構成・配列に関する観点 各単元の内容量は標準である。各単元、随所の「ふり返し」で詳しい写真や説明が記載されており、小学校やこれまでの既習事項を確認できる。観察、実験は目的意識をもって実施できる構成となっている。《①・②・③》</p>				
<p>7. 資料その他に関する観点 文字と写真、図、グラフ、表などの分量や配置はともに適切である。また、「活用してみよう」やコラム「部活ラボ」で生徒の主体的な自然への探求を支援している。《②・③》</p>				